



2011

みちのく Lion

MICHINOKU
MONTHLY



APRIL

2011.4.1発行：ライオンズクラブ国際協会332-A地区機関誌委員会



国際会長テーマ
希望の光

332複合地区アクティビティスローガン
築こう世界の平和・つなごう奉仕の絆

332-A地区ガバナーテーマ
感動の奉仕へつなぐ和の例会^{クラブ}

332-A地区アクティビティスローガン
掲げよう一人ひとりの奉仕の灯^{ひかり}



写真提供：PR・情報機関誌委員 L 佐藤 正洋

東日本大震災!! 未曾有の大惨事

今こそ
ライオンズ力を
結集し支援しよう!!



青少年健全育成活動について —スポーツ大会、薬害防止活動の外に ライオンズクエストの立ち上げを—

国際協会332-A地区ガバナー

L 小松崎 壽 志

ライオンズの奉仕活動の中で現在最も多く実施されている活動は何か。それは青少年健全育成活動です。我々の地区でも毎月、機関誌のみちのく誌を通しアクティビティ欄に紹介されております。

第一に少年サッカー大会、少年野球大会、少年柔道大会等スポーツを通じて健全な心身を鍛えようとするものであり、その主催は大変すばらしい事だと思います。

第二に薬害防止活動です。心身の健康のため子供等を薬害から守ることを目的として講座を開催し、薬害のおそろしさを知らしめる活動をしておりますが、このアクティビティは今後一層進めてほしい活動だと思っております。

なお薬害防止活動についてお願いがあります。それは地区で毎年薬害防止活動の講師認定講座を開催し、多くの会員が講師の資格を持っているのに、クラブで子供達に対する講座を持たないがために、せっかくの認定資格が無駄となり、宝の持ちぐされ現象がおきていることです。各クラブが積極的に年間アクティビティの一環としての位置づけをして実行に移してほしいと思っています。

次に私が希望するのはライオンズクエスト事業への挑戦です。

今、国際ライオンズクラブで青少年健全育成活動として最も力を入れているのはライオンズクエストです。世界の子供達にライフスキル（生きる力）を学ばせようとするプログラムです。LCIFでは青少年活動の四大交付金の一つとして位置づけその普及に力を入れております。

現在332-A地区で実施しているクラブはありませんが、今後、青少年活動の主力アクティビティになるのは間違いありません。私のガバナー在任中に実現したかったのですが、無理のようです。一つには学校へ行って単発的な講話をしたから済むという事業ではないのです。一つのプログラムに2～3年はかかるのです。これにたずさわる学校の先生にクエストの講義に参加してもらう必要もあります。しかし、これらの問題をクリアして富山県や千葉県では導入されています。私達の地区でも是非クエスト活動を推進してもらいたいと思います。

LCIF

ライオン誌日本語版より



世界中の子どもたちの笑顔が見たい

ライオン誌日本語版より



CONTENTS

ガバナーあいさつ	2
緊急メッセージ	3
LCIF	5
アクティビティ	9
第3回ガバナー諮問委員会	14
次期キャビネット事務局開所式	15
リーダーシップセミナー開催	15
若手会員フォーラム開催	16
皆で築こう明るい例会	17
新入会員紹介、行事予定表	18
M・J・F 献金、地区周年行事予定表	19
会員動向	20

緊急メッセージ



被災者に全面的支援を - 東日本大震災にあたり -

国際協会332-A地区ガバナー L 小松崎 壽 志

この度の東日本大震災で被災されました方々には、心からお見舞いを申し上げます。

三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震は、1923年日本で近代的な地震観測が始まって以来、国内史上最大規模の地震といわれ、多くのライオンズメンバーも被災されたと聞いています。テレビに映し出される映像のあまりのむごさにただ呆然とするばかりでした。

大津波で壊滅的な被害を受けた陸前高田市や南三陸町等三陸一帯、それに当地区の八戸港も大打撃を受けました。また現在1万数千名の貴い命が失われたとの情報ですが、犠牲となられた方々には心からご冥福をお祈りしたいと思います。自然が牙をむいた時のすごさに、人間の無力さを思うばかりでした。

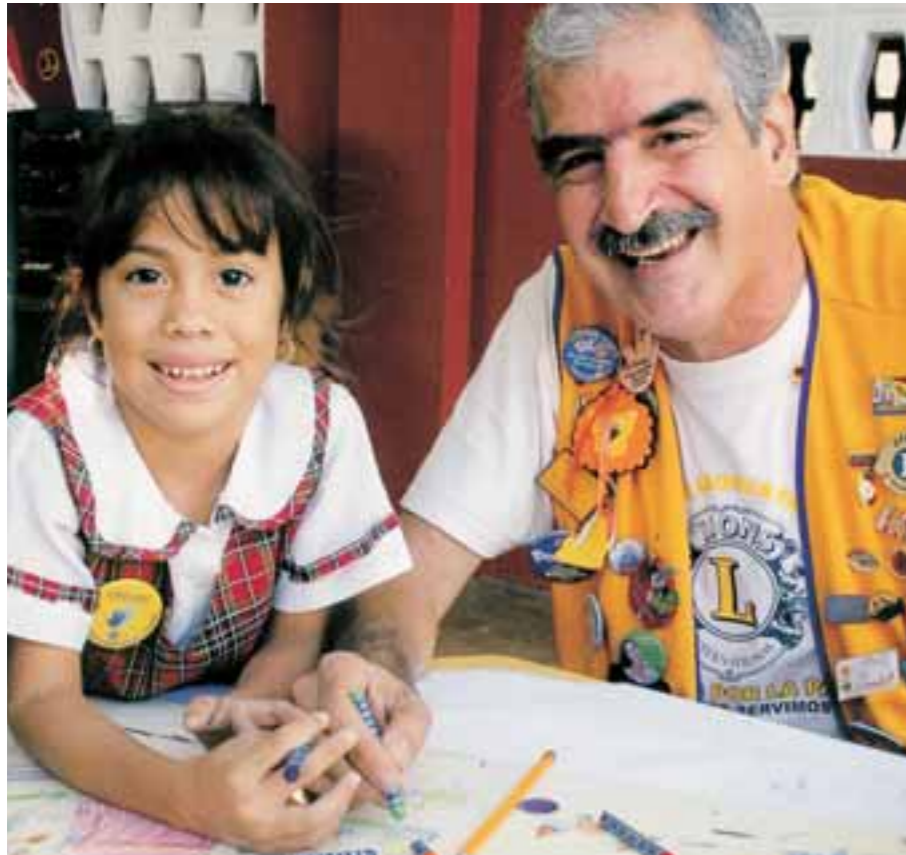
私は地震直後からライオンズとして何か支援できるものはないかと、副地区ガバナー、ゾーンチャーパーソンと連絡を取り合っています。支援の一つとして地震直後、八戸市災害対策本部に、食料等不足の場合、おにぎり等の差し入れを申し出ましたが、とりあえず間に合っているとの返事でした。

このあと、被災されました方々に援助をしたいと思っておりますが、クラブを通じて各ライオンの支援を仰ぐつもりですので、何卒、心強いご協力をお願い致します。

今入った情報ですが、LCIF（ライオンズクラブ国際財団）より緊急援助交付金として日本に対し1億円の支援が決まったとのこと。私達も頑張りましょう。

なお、キャビネットでは、この災害に対処すべく「大震災対策相談室」を設置しました。何か情報がありましたらお寄せ下さい。（電話 0176-27-6521・FAX 0176-25-2230）





ライオン誌日本語版2010年1月号より

2005年7月〜2008年6月の3年間でCSFIIキャンペーン（視力ファーストIIキャンペーン）という名のもとに大々的な基金募集が行われ、日本からは約50億円、世界では2億ドル（約180億円）の基金が集まり、発展途上国を中心とした地域に資金を投入し、約2,400万人の人々の失明を防ぐために資金が使われています。

活動は5年前に終わったのではなく、現在も継続されています。その外、スマトラ島の大地震に対する援助金や、インド・グジャラート地震、中国四川省地震でも大災害援助交付金が大きな力を発揮しました。LCIF基金は発展途上国にばかり使われているわけではありません。私達

ライオンズクラブ332-A地区第55回年次大会記念事業 LCIF一般援助交付金による



緊急血液輸送車を日赤に寄贈

332-A地区第55回年次大会記念誌より

「LCIF」ってなに？
LCIF活動をもっと知ろう

会員の皆さんは「LCIF」ということばを知っていますか？
おそらく聞いたことや、ライオン誌で見たことはあるけれどくわしくはわからないという方が多いと思います。ライオンズマンには是非知ってもらいたいことばなのです。

「LCIF」とは日本語訳で「ライオンズクラブ国際財団」と訳されています。1968年に国際協会によって設立された財団で寄贈を受けた基金の運用により、人類の福祉に貢献することを目的としております。

では私達の活動と別世界の存在なのかという点も異なります。私達もLCIFを支えている重要なメンバーなのです。私達はLCIF会員として誰でも会費を収めますが、一部は地域活動資金として使いますが、一部は20ドル献金という形でLCIFへ献金しています。LCIFでは20ドル献金やメルビン・ジョーンズ・フェローの1,000ドル献金等の寄贈による資金で、人類の福祉に貢献する国際的な活動をしているのです。

即ち私達はライオンズに入会することにより国際的なLCIFの参加人員として世界的な奉仕活動に参加していることになるのです。
ライオンズの活動は要約すれば、クラブが所属する地域への活動と、皆で出し合った資金で国際的な活動をする二つがあるわけです。



330-A地区がLCIF交付金で建設したアフガニスタン・セアペタベ村小学校（ライオン誌日本語版2010年4月号より）



ハイチ大地震救援一大災害援助交付金（ライオン誌日本語版2010年4月号より）

でも交付を受け活動資金として利用できるのです。一昨年の青森市での年次大会では日本赤十字社へ血液輸送車が寄贈されましたが、LCIFから2万ドルの援助交付金を受けております。昨年の弘前市での記念事業でもアイバンクへの屈折及び眼圧検査装置寄贈で、LCIF一般援助交付金を交付されております。

このように私達がLCIFへ拠出するだけでなく、申請することによって活動資金を交付されるのです。それではLCIFの交付金にどんなものがあるのか列記してみます。

1. 緊急援助交付金
2. 一般援助交付金
3. 国際援助交付金

4. 四大交付金

- ① 視力改善交付金
- ② 障害者援助交付金
- ③ 健康促進交付金
- ④ 青少年奉仕交付金
(ライオンズクエスト等)

5. 大災害援助交付金
6. 用途指定援助交付金
7. 視力ファースト交付金

一つ一つの項目についての内容説明は今回は省略しますが、以上7つの交付金があります。

現在日本からは1年前に50件位の申請がなされ、申請されたものはほとんど交付されております。ではどのような活動へ交付されているのか、2008年から2009年分について参考までに幾つかを記してみます。

- ラオスにおける小学校の建設（334-A地区）
- ヴェトナムにおける保育園の建設（333-B地区）
- 盲学校への機器の寄贈（335-D地区）
- 日赤へ血液輸送車の寄贈（332-A地区）
- カンボジアにおける孤児園の建設（334-A地区）
- 移動用診療機器の寄贈（333-E地区）
- タイにおける植林（336-B地区）
- ライオンズクエスト（335-C地区）
- ボルネオにおける水道の設置（334-A地区）

以上約50件の交付の中より抽出して書

Activity

弘前LC

「ふれあい授業」実施

2月9日(水)クラブ会員が弘前市立第一中学校へ講師として赴き、講義を行う「ふれあい授業」を実施しました。この事業は青少年の健全育成を目的とし、将来の生き方に対して自覚を深めることを期待して行っているものです。生徒全員に感想文を書いているので、小冊子を作成し寄贈する予定です。



L 佐藤 孝治



L 木村 和生



L 福士 祐一



L 佐藤 圭一



L 木村 文丸



L 安田伊佐武



L 小田桐國光



L 三上 直樹

【講師・テーマ】

- L 佐藤 孝治 「将来の夢」
- L 木村 和生 「30年で変わったこと、変わらないこと」
- L 木村 文丸 「弘前城物語」
- L 三上 直樹 「目標とする人を見つけよう ～ Appleのストーリー ～」
- L 佐藤 圭一 「ルール・マナーの大切さ」
- L 小田桐國光 「若者よ大志を抱け」
- L 福士 祐一 「ブレない自分になるために」
- L 安田伊佐武 「今が大事か、未来が大事か」

2R合同献血を実施

2月20日(日)2R合同献血を実施しました。冬期間の血液不足を補うため、当LCがホストとなり、弘前東奥LC、弘前チェリーLC、岩木LC、弘前中央LC、弘前津軽LC、弘前西LCの7クラブが参加し、一般市民に献血の協力を呼びかけました。活動の際の余剰金は献血事業へ役立ててもらうため、日本赤十字社青森県支部へ寄付する予定です。



藤崎LC

雪ですべり台を作製

2月11日(金)藤崎こども会の雪上運動会に雪ですべり台を作製し、競技に使うみかん5箱を贈呈しました。



「第28回薬害防止キャンペーンもちつき大会」開催

弘前チェリーLC



2月13日(日)当クラブ主催「第28回薬害防止キャンペーンもちつき大会」を弘前雪燈籠まつりイベント会場にて開催しました。前日より用意した地元もち米50kgを会場に来た子供達と



330-C地区秩父中央LCの四大交付金を使ったライオンズクエスト・プログラム(ライオン誌日本語版2010年1月号より)

いてみましたが、キャビネットではなくても単一のクラブでもできることを知ってほしいと思います。

特に四大交付金が受けられるライオンズクエスト・プログラムは25周年を迎え、世界中の多くの青少年がライフスキル(生きる力)を学んでいます。日本でも各地区でこのプログラムが計画、実行されています。これまで、それぞれのクラブで青少年健全育成事業として、スポーツ大会などを通じて学校関係者やPTA関係者との繋がりが、このプログラムの導入の鍵といわれています。また、数年にわたって実施するプログラムですので、実施にあたってはクラブ会長、そして予定者と充分話し合い、年度ごとの計画作成が



ライオン誌日本語版2010年1月号より

求められます。今こそ、将来を担う子供たちのライフスキル・アップ(生きる力の向上)を図っていかねばならない時期であり、このLCIF交付金で世界中の子どもたちの笑顔をいっぱい見たいものです。

尚2008年〜2009年におけるLCIFの収入(寄贈)は約30億円、支出(交付金)は約25億円でした。交付のための申請書は10人による執行委員会で審査され交付の決定がなされています。一昨年、世界の中の奉仕活動第1位にライオンズクラブが選ばれましたが、ライオンズ国際協会の中にあって活動の中枢はLCIFなのです。私達もライオンズの会員として誇りを持つてはありませんか。

青少年健全育成に力をそそごう!!

十和田市立北園小学校生徒対象に 伝統の和菓子づくり体験を実施

今、子供達が地域との関りの中で、何を学びたいと望んでいるのかとの問いの中から、子供達と直接触れ合う場を作ろうと言う事になり、地区青少年指導力委員会のL下川原委員長に協力を仰ぎ、和菓子づくり体験を実施しました。

当日は十和田市立北園小学校5年生103名と父兄並びに十和田LCメンバーによる和菓子づくりの体験学習となりました。

講師の菓子店主であるL下川原春男の指導の下、参加者全員が初めての体験ということで、生徒達も目を輝かせ下川原春男先生の鮮やかな手つきを見ながら悪戦苦闘しながらも楽しく作り始めました。その間、親子、子供どうし相談したり、意見を述べ合ったり、あっという間に時間が過ぎ、いろんな形の和菓子が上手に出来上がり、みんなが笑顔のうちに終了しました。講師のL下川原は「和菓子というありふれた中にも日本の伝統と日本の心が込められていることを知ってほしかった」と話していました。



今回の出前授業で感じたことは色々な知識を子供はスポンジのように吸収する時期です。子供たちが学びたいことを学び、大人が教えたい力を付けてもらいたいものです。

つきあげ、まつり参加者に薬害防止のパンフレットとポケットティッシュ、つきたてのお餅を配り薬害防止をPRしました。

弘前中央LC

「第31回津軽地区少年柔道錬成大会」開催

2月11日(金) 当クラブ主催「第31回津軽地区少年柔道錬成大会」を弘前海洋センターにて開催しました。この大会は青少年健全育成を目的に毎年「建国記念日」に実施しています。今年度も津軽地区の小中学生266名の選手が参加し、父母らの熱い声援を受けながら日頃鍛えた技を競い合いました。



弘前津軽LC

「第1回弘前津軽LC冬季小学生卓球大会」開催

2月20日(日) 今年度より当クラブのアクティビティとして小学4年生から6年生の男女を対象として「第1回弘前津軽LC冬季小学生卓球大会」を青森県武道館で開催しました。今回の出場選手は463名となり、大勢の父兄の応援もあり熱気のある試合となりました。今後、当クラブの継続アクティビティとして行なっていきます。



弘前西LC

弘前市内16校の児童が熱戦

当LC(阿保清忠会長)は、2月27日(日)日弘前市河西体育センターで、

合同献血奉仕活動実施

2月23日(水) 三沢木崎野LCと合同による献血奉仕活動を、三沢市役所にて実施しました。
好天にも恵まれ、179名もの受付者が訪れました。



十和田稲生LC

柔道大会開催

2月13日(日)「第27回十和田稲生LC旗争奪学童柔道大会」、「第20回十和田市中学生無差別選手権大会」を、十和田市総合体育センター サブアリーナで開催しました。
上十三地区の柔道少年団、三戸郡の柔道少年団、及び、十和田市内の中学生総勢153名の選手が今年度最後の練習として、この一年間の練習(稽古)総

八戸中央LC

「えんぶり」慰問を実施

2月18日(金) 障害者施設国立病院機構・八戸病院への「えんぶり」慰問を実施しました。
えんぶりの期間中には珍しく雪も降らず暖かい日で、地元、中居林えんぶり組に依頼しての慰問となりました。



まとめとして、一生懸命試合に取り組んでいました。
・団体優勝 三沢分団Aチーム
・共催：十和田市柔道協会、全日本柔道少年団十和田市分団、ライオンズクラブ国際協会332-A地区キャピネット
・後援：十和田市教育委員会、(財)十和田市体育協会

弘前市内の小中学生を対象にした第12回ドッチボール大会を開催しました。
大会は当クラブの目標である青少年の健全育成を目的に、毎年開かれており、児童の体力向上に加え、スポーツを通じて社会貢献できる人間になってほしいとの願いが込められています。開会式は弘前市教育委員会、他クラブからの来賓にも参加して頂き、子供達への激励のお言葉を頂きました。今大会は、16チーム、約240人が参加し、2部に分かれた予選リーグと、上位各チームによる決勝トーナメントで覇を競った結果「高杉小学校」が初優勝を飾りました。

会場は父母らの声援など熱気に包まれる中、児童が駆け引きも巧みに、チームワークでライバルを撃破。試合の間には、無料提供(600食)の『豚汁』を食べながら、お互いに交流を深



三沢LC

「三沢LC旗杯上十三地区小学生バレーボール新人大会」開催

2月6日(日) 三沢LC旗杯上十三地区小学生バレーボール新人大会を開催しました。
12チームにおいて白熱した戦いが行われました。



2月2日(水) ライオンズクラブ国際平和ポスターコンテスト表彰式を実施しました。応募頂いた中居林小学校の生徒達へ最優秀賞他4名に賞状と図書カード、応募された生徒達へも賞状と参加賞の図書カードを贈呈しました。

八戸東LC

八戸市体育協会より感謝状を頂く

2月19日(土)、1月28日に開催された「はちのへ国体」で、せんべい汁を振る舞い協力した事に対し、八戸市スポーツ研修センターにて八戸市体育協会(上田善四郎会長)より感謝状を頂きました。
是非次回も応援させて頂きたいと思



二〇二一年二月度アクティビティ

アクティビティ記載について

マンスリーレポートの報告で、記念式典参加や諸会合出席、チャリティを伴わない大会参加等は、アクティビティになりません。したがって「みちのく誌」のアクティビティ欄には記載されませんのでご承知下さい。

地区ガバナー L 小松崎 壽志

1 R

- 青森とうとうLC
2月16日 MJF\$1,000 献金
L米澤 英克(1回目)
1名(82円) 82,000円
青森あすなろLC
2月6日 第6回「街頭献血」呼び掛けPRを実施。献血者40名(内訳400ml:33名/200ml:7名)。参加L5名 家族1名 事業費13,491円
青森ねぶたLC
2月5日「街頭献血」呼び掛けPR実施。献血者33名(内訳400ml:25名,200ml:8名) 参加L3名 事業費4,630円
青森中央LC
2月25日 青森県火災共済協同組合 青森中央代理所手数料 収益事業6,684円

2 R

- 弘前LC
2月1日 2010年10月8日ライオンズデーの奉仕活動として行った廃品回収 収益事業8,280円
2月9日 クラブ会員が弘前市立第一中学校へ講師として赴き、講義を行う「ふれあい授業」を実施 講師L8名
2月20日 2R合同献血を実施。受付65名 献血者56名(内訳400ml:39名/200ml:17名) 事業費10,000円
2月22日 MJF\$1,000 献金 L大信田平三(5回目)
1名(82円) 82,000円
2月23日 MJF\$1,000 献金 L木村 康雄(5回目)
1名(82円) 82,000円
2月28日 MJF\$1,000 献金 L木村 公保(1回目)
1名(82円) 82,000円
藤崎LC
2月11日 藤崎こども会の雪上運動会に雪ですべり台を作製。競技に使うみかん5箱贈呈 参加L6名 事業費10,214円
弘前東奥LC
2月14日 「街中イルミネーション事業」まちに灯火助成。土手町どっぴん広場にて行われた、巨木ツリー

4 R

- 三沢LC
2月6日 三沢LC旗杯上十三地区小学生バレーボール新人大会開催 事業費145,000円
2月23日 三沢木崎野LCと合同による献血奉仕活動を実施。受付179名 献血者148名(内訳400ml:123名,200ml:25名) 事業費23,512円
2月 10月に行われたLCIFチャリティゴルフ大会の収益金を献金 50,000円
十和田LC
2月18日 MJF\$1,000 献金 L小松崎壽志
(8回目・9回目・10回目)
1名(82円) 246,000円
十和田稲生LC
2月13日 「第27回十和田稲生LC旗争奪学童柔道大会」、「第20回十和田市中学生無差別選手権大会」を開催 事業費333,889円
三沢木崎野LC
2月23日 三沢LC・三沢木崎野LC合同献血運動を実施。献血者148名(内訳400ml:123名,200ml:25名)

5 R

- 八戸LC
2月14日 聴導犬協会へ寄付 18,000円
2月14日 LCIF\$20 献金 53名(82円) 86,920円
2月25日 八戸都南LC主催「第2回チャリティー鍋パーティー」 参加L5名 助成金20,000円
八戸三八城LC
2月5日 第37回青森県対栃木県小学生スピードスケート交歓会开幕式 参加L5名 事業費50,000円
2月25日 八戸都南LC主催「第2回チャリティー鍋パーティー」 参加L10名 助成金40,000円
八戸城北LC
2月10日 国際平和ポスター展表彰(城北小学校) 事業費27,827円
2月15日 認知症介護援助専門ミニホーム「袖の家」にタオルを150本寄贈 事業費30,000円
八戸都南LC
2月25日 当クラブ主催「第2回チャリティー鍋パーティー」を開催 事業費10,000円

3 R

- 弘前チエリーLC
2月11日 弘前中央LC主催「第31回津軽地区少年柔道錬成大会」 事業費10,000円
2月13日 当クラブ主催「第28回薬害防止キャンペーンもちつき大会」を開催 参加L18名 LL9名 事業費94,302円
2月20日 2R合同献血開催 参加L3名 事業費10,000円
2月26日 陸奥新報社主催「第39回新一年生おめでとう弘前大会」 事業費10,500円
2月27日 弘前西LC主催「第12回弘前西ライオンズクラブドッチボール大会」 事業費10,000円
弘前中央LC
2月11日 当クラブ主催「第31回津軽地区少年柔道錬成大会」を開催 参加L17名 事業費819,751円
(内収益事業資金249,200円)
2月20日 2R合同献血アクティビティを弘前建設(株)前駐車場にて実施 参加L3名 事業費10,000円
2月26日 第39回新一年生おめでとう弘前大会 事業費10,500円
2月27日 第12回弘前西LCドッチボール大会 事業費10,000円
黒石LC
2月14日 黒石市市民福祉大会 助成金10,000円
2月23日 陸奥新報社主催「新一年生おめでとう大会」 助成金10,000円
平賀LC
2月22日 阿部医院阿部朋親先生による「人とウィルス」というテーマで健康卓話を実施。また、ドネーションで事業資金獲得 事業費10,000円 収益事業21,000円
黒石烏城LC
2月13日 昔ながらの玩具「ずべり」を雪の土俵にどだけ長い時間回すかという冬の津軽ならではの遊びを競技にした「全日本ずべり回し選手権大会」に審判員を派遣し協力 参加L7名
2月23日 「新一年生おめでとう津

- 八戸うみねこLC
2月25日 八戸都南LC主催「第2回チャリティー鍋パーティー」 参加L3名 助成金12,000円
八戸中央LC
2月10日 観光俳句ポスト第7回作品集を発行。2年間で103句の投句をいただきました。選句しました作品を掲載しております。選出された方々に記念品を贈呈 70,450円
2月18日 重度障害者施設、国立病院機構・八戸病院への「えんぶり慰問」実施 事業費63,297円
八戸白鷗LC
2月2日 ライオンズクラブ国際平和ポスターコンテスト表彰式を実施 事業費42,000円
八戸まべちLC
2月22日 使用済み切手1,950枚を送付
2月25日 八戸都南LC主催「第2回チャリティー鍋パーティー」 参加L3名 助成金12,000円
五戸LC
2月25日 八戸都南LC主催「第2回チャリティー鍋パーティー」 助成金12,000円
2月26日 五戸町ふれあいフェスタバル 助成金3,000円
八戸東LC
2月25日 八戸都南LC主催「第2回チャリティー鍋パーティー」 参加L5名



去る3月1日、次期キャビネット事務局開所式が八戸市総合卸センター内の包（パオー）L中居の作ったリサイクル資料館）に於て行われました。地区ガバナーL小松崎をはじめとして第一副地区ガバナーL中居、第二副地区ガバナーL外崎、元地区ガバナー、5RのZC、各クラブの代表者、キャビネット役員など約35人が参加しました。

次期キャビネット事務局開所式



まず副幹事L田名部智之の司会、八戸LCの会計であるL昆（八戸市の白山神社の宮司）により神事が行われました。次期キャビネット事務局の平穏無事なることを祈り祝詞が奏上され、参加者による玉串奉納へと厳かに進み、無事終了することができました。その後は場所を移しての直会（ならいー食事会）です。最初に地区ガバナーL小松崎、八戸LC会長L小田秀彦のあいさつを戴き、次期ガバナーL

3R1Z 第3回ガバナー諮問委員会

1R1Z 機関誌特派員
L 工藤 英磨



平成23年3月4日（金）午後6時から平川市の「東京会館」において東京会館の社長でもある、次期3R1Z ZC予定者 L小林忠則を来賓としてご出席いただき2010〜11年度最後のガバナー諮問委員会が、開催されました。はじめに、ZC L北山敏光の挨拶の中で、「現在のライオンズ

クラブの状況は、なかなかメンバーが増やせない、と云うよりは逆に減っている状況です。これから6月の年度末までにかけて、退会者が急激に増える傾向があります。役員の皆様は置かれましては、会員の増えることは望ましいことですが、どのようにすれば、退会者が減るかを考えていただきたい。」と云うお話があり諮問委員会に入りました。

諮問委員会では、諮問書に従い各クラブより発表がされ、意見が交わされました。ZC L北山敏光は諮問書の総括において、「全クラブほぼ満点に近い点数で、適正な運営を行っていただければいいと思います。どこのクラブも会員が減り運営が厳しいと思います。基本的な部分は維持していただけるように努力していただきたい。例会の欠席者などにしても、原因、理由などが事前に把握できる場合には例会日を変更するなどの対策を採っていただきたい。今回の複合地区年次大会は地元青森県で開催されるので、地区年次大会も同様と考え、会員の皆様には、できるだけ多くの人に参加できるようにお願いしたい。」と諮問委員会を閉じました。ニューメンバースクールの件についても話しをしましたが、まとまらず、ZCに一任と云う形で、各クラブが協力することとなりました。懇親会では、黒石LC会長 L内山

一志が挨拶の中で、「ライオンズクラブの会長を経験できたことは自分にとって大変良かった。この経験やライオンズ精神、伝統を次の世代に引き継いでいくことが、私たちの責任だと思ふ。」と述べて盛大な拍手の中、平賀LC会長 L小山内辰史の乾杯で宴が始まり、次期ZC予定者 L小林忠則が次期の抱負を語り、そのためには、各クラブの皆様のお力が必要だ、と協力を求め懇親会を締めくくりました。

4R1Z 第3回ガバナー諮問委員会

L 津吉 通正



ライオンズクラブ国際協会3321 A地区4R1Z8クラブの第3回諮問委員会が、七戸町で開催されました。L小笠原豊重ZCの挨拶により開会され活発な意見が交わされました。

8クラブ会長、幹事、会計が委員会に出席し、地区ガバナーから諮問された諮問事項についてそれぞれ発表しました。

諮問事項は5項目で一部をご紹介しますと、会員純増目標達成についての問いには、各クラブとも積極的にアプローチし、目標5名のところ4名を達成しているライオンズクラブもあり、又目標を達成しているクラブもあり各

クラブの努力していることに敬意を表する次第です。

又、ゾーンの内規の一部変更についても議論がなされました。

最後に、次期ZCの担当クラブ、七戸ライオンズクラブであることを確認し諮問委員会を終了しました。

懇親会に移り、和気藹々とした雰囲気です。

ゾーンのこれからの事業として、4月15日（金）ニューメンバーズスクールの開催、6月17日（金）ゾーン引き継ぎ会を開催する事になりました。

中居の挨拶となりました。ここ10年間近くの間、年度末になると100人近くのライオンが退会している現状を説明し、地区ガバナーL小松崎の注力により会員数は今現在増加しているが、この流れを止めることなくプラスのまままで今期を終わらせたい。次年度はより一層の会員増加を目標としました。

3321A地区リーダーシップセミナー開催

3月1日、富士屋ランドホールにおいて3321A地区リーダーシップセミナーが約50名の参加により開催されました。



ガバナー挨拶の後、第一副地区ガバナーL中居によるLCIFの簡単なオリエンテーションが行われました。昼食をはさみ、5テーブルに分かれ、ブレインストーミング、KJ法による

指して新しい手を打ちたい、との熱い決意を表しました。その後次期の幹事・会計・運営委員長（事務局長・事務局員が紹介されました。最後に元地区ガバナーL神山、元地区ガバナーL近藤から激励の言葉を戴き閉会となりました。



やはりどの地区でも同じような問題点を抱えているようで、これが解消された時にはライオンズクラブの大きな発展もあるのではないのでしょうか。また、山形・岩手の両県では県の献血の25%がライオンズ関連だということが発表され、これを複合全体に広めることで、メディアにも大きくとりあげられPRにもなる。ぜひ実現させたいということになりました。

懇親会に移り、名刺交換、乾杯と進み、ここでも熱く語り合う姿が見受けられました。ディスカッションの場では話せなかった突っ込んだ話などをし、時間の経つのが非常に速く感じられ、あっという間に閉会の時間となりました。



テーブルディスカッションへと進みました。

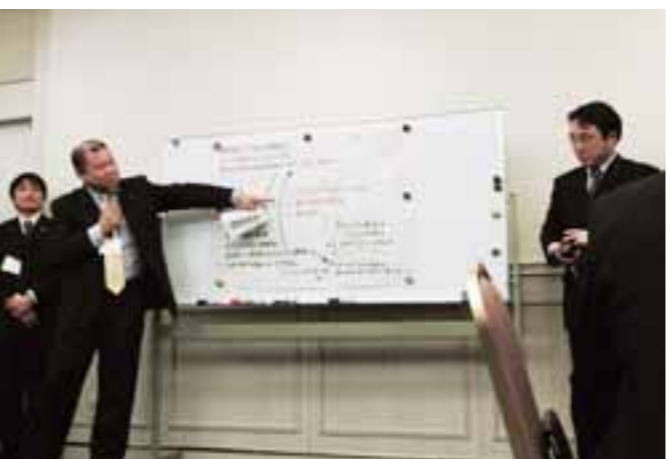
第一のテーマは「退会防止について」でした。各テーブルとも自分のクラブでの実例に基いた話から、何故辞めるのか、辞めていくメンバーのパターン、防止策の等が提案されていました。

辞める理由としては、・例会を含めたクラブ活動がつまらない。・仲間ができない。・経済的理由等が挙げられ、防止策としては、・固定した席位置にならないよう「くじ引き」で毎回違うメンバーと座る。・出席回数が減るなど「辞めるサイン」を見逃さない。・スポンサーだけでなくクラブ員全体でフォローしていく等が考えられました。

第二のテーマは「シニアクラブ設立について」です。

ました。最後に国際理事候補者のL秦従道の「自分が考えることは、それが近未来のライオンズにとって最善の策であるかどうかだけだ」という話には感銘をうけました。またライオンズ・ネットへのお誘いがあり、早速次の日には30通程のメールがあり、皆さんのライオンズにかける熱い思いを感じました。

このようなフォーラムは初めてか非常に久しぶりのことでしたが、他の地区の話しを聞く機会は思いのほかに少ないので、ぜひ近いうちに第2回目のフォーラムを、できれば青森での複合年次大会の時にでも、と思いました。



3321Aにおいては未経験のことであり、全国には既に五十以上のクラブが設立されているとはいえ、難しい内容になることが予想されました。想定したシニアクラブは、概ね60才以上で、転籍を希望するライオンが、後継者を入会させることを条件としました。

設立された場合のメリットとして、・地区としてクラブ数・会員数の増加が見込める。・ノンライオンの退職者の入会が見込める。・既存のNPOや婦人会等他団体からの入会。・クラブ会員の若返り。・後継者の速やかな入会。これらによるクラブの活性化ひいてはリジョン・地区の活性化です。

考えられるデメリットは、高齢者



皆で築こう明るい例会

1R1Z

2000年～2001年 1Z会長

今から10年前の2000年から2001年までに、1Zで会長を経験したメンバーで構成している会長会が、10周年を記念して青森市内の「きりたんぼ田村」で開催されました。出席者はL小財忠夫（青森LC）、L百澤光男（青森はまなすLC）、L工藤陸一（青森つとうLC）、L船水勝則（青森かもめLC）、L伊藤廣光（青森まほろばLC）、L豊川民男（青森ねぶたLC）の6名のライオンで10年目の節目の話題に花を咲かせました。

特に各クラブが抱える悩みである会員の減少には真剣な議論がなされ、解決方法としては、時の会長に任せるのではなく、会員一人ひとりが日頃のライオンズ活動の中で「自分は年に一人、必ず新入会員を入れる」といった意気込みとバイタリティが必要であるという認識で一致しました。



最後に、会長経験者でなければわからない悩みや苦しみを喜びに変える意味でも、各クラブの会長経験者は現職の会長の陰になり、ひなたになり、最大限協力する事が努めであると確認し合い、5月の年次大会と複合大会に多くの参加者を募り合うことを誓い、解散しました。

切りにならないか。・若い人から高齢者までいてこそそのライオンズではないか。・シニアクラブの名前の聞こえが悪い。せめてプラチナクラブとしてはどうか。・シニアクラブ会員の活動時間が少なくなりそう、等でした。

当然デメリットもあるかもしれませんが、しかし、ここ何代かのガバナーが必死にやっても減っていく一方の会員はありきたりの策では増えません。幸い他地区では前例がありますのでその話を聞き、今回出たデメリットをつぶし、3321Aに合わせアレンドジするならば成功する可能性は低くないと思えました。

若手会員フォーラム開催

3月6日、仙台市において332複合地区企画、ライオンズ若手会員フォーラムが開催され、協議会議長其田桂複合地区ガバナーをはじめとした役員7名を含む63名が参加。3321A地区からは八名が参加しました。

開会の後、最初に自分にニックネームをつけ、全員がニックネームで呼び合うということに少し気恥ずかしさを感じました。まず横に座ると自己紹介をしあつた後、自己紹介ではなく、その人の他己紹介をし、グループディ



スカッションへと入りました。テーマは『ライオンズクラブの可能性』です。活発な意見交換がなされ、約40分各テーブルの意見をまとめ発表となりました。将来へむけて若い人を入会させる必要性。他団体とのコラボレーションも考えてみたい。SNS、ユーチューブを始めとしたメディアの活用。PRの必要性。複合地区としてのアクティビティもやってみよう。楽しい例会を行いたい。災害時の対応が遅すぎる、等が発表されました。

メルビン・ジョーンズ・フェロー献金

月日	氏名	所属LC	献金額	回数
2月7日	外崎 勲	五所川原	164,000	4回目
2月14日	小川 忠男	五所川原	82,000	4回目
2月14日	竹鼻 文子	五所川原	82,000	3回目
2月16日	米澤 英克	青森うとう	82,000	1回目
2月18日	小松崎 壽志	十和田	246,000	10回目
2月22日	大信田 平三	弘前	82,000	5回目
2月23日	木村 康雄	弘前	82,000	5回目
2月28日	木村 公保	弘前	82,000	1回目

332-A地区 地区周年行事予定表 2010~2011年

R・Z	クラブ	月日	場所	周年
3R1Z	黒石烏城	2011年4月17日(日)	田舎館村文化会館	35周年
3R1Z	尾上			35周年
3R1Z	田舎館			35周年
2R2Z	弘前津軽	2011年4月24日(日)	ベストウエスタンホテルニューシティ弘前	40周年
5R1Z	八戸うみねこ	2011年5月21日(土)	八戸シーガルビューホテル花と月の渚	5周年
1R1Z	青森あすなろ	2011年6月19日(日)	ウェディングプラザ アラスカ	35周年
2R1Z	弘前東奥	2011年6月19日(日)	弘前パークホテル	40周年

332-A複合地区内において、東日本大震災では、多くの皆様やライオンズメンバーも被災されました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

PR・情報機関誌委員会
委員長 三浦 芳靖

2010ライオンズ地区大会 正解者の発表

正解者多数のため抽選の結果
当選者

問1 1.アテンダンス
問2 2.ライオンズクエスト
問3 3.ライオンズ・ローア
問4 1.ライオン・テーパー

おめでとうございます

L小山内辰史(平賀LC)
 L浅木悦治(青森LC)
 L斎藤修一(青森LC)
 L酒井忠夫(青森LC)
 L辻村誠(青森LC)
 L今井隆(青森八甲LC)
 L齋藤均(青森八甲LC)
 L嶋津宏之(青森八甲LC)
 L蝦名懿衛(青森八甲LC)



副幹事・機関誌委員
取締役社長 L大竹 茂 (十和田LC)

株式会社 大竹電化センター
〒034-0081 青森県十和田市西十三番町26番7号
電話(0176)23-2302代 FAX(0176)23-9218
ホームページ <http://www.ohtakedc.jp>
E-mail sales@ohtakedc.jp



2010-2011 332-A地区 2Z-ZC
理事長 L於本 淳 (八戸中央LC)

於本病院
八戸市大工町10 TEL:0178-43-4647

金吹沢診療所
適合高専貴 金吹沢の森
八戸市大久保字大山7 TEL:0178-34-2681

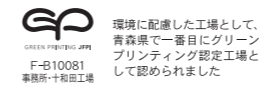
デイサービスセンター おもと
八戸市大工町11 TEL:0178-43-8417

332-A地区 新入会員紹介 ご入会おめでとうございます

クラブ名	新入会員 (ふりがな)	職業	スポンサー
弘前東奥	小林 稔 しばやし みのる	保険業	山内 竜一
	立石 眞樹 たていし まき		奈良岡 弘
	藤本 久 ふじもと ひさし	魚類販売業	木村 知紀
	三浦 栄子 みうら えいこ	建設業	石戸谷 忻一
鶴田	藤田 哲也 ふじた てつや	飲食業	渋谷 和幸
	神 秀敏 じん ひでとし		神 秀次郎
	竹浪 正顕 たけなみ まさあき		坂本 興平
五所川原東日流	一戸 孝男 いちのへ たかお		今 謙一
十和田湖	黒沢 一郎 くろさわ いちろう	印刷デザイン業	小川 耕一

行事予定表

日程	内容	場所
4月	2日(土) 第4回キャビネット会議・名誉顧問会議	サン・ロイヤルとわだ
	4日(月) 1R1Z・2Z合同 第3回諮問委員会	青森市
	9日(土) 第57回年次大会 第5回運営会議	十和田市
	25日(月) 台湾300-A2区LC来青	十和田市
	26日(火) (東日本大震災のため来青が中止となりました)	
5月	7日(土) 第57回地区年次大会 チャリティゴルフ大会	みちのく国際ゴルフ倶楽部
	第57回地区年次大会 前夜祭	富士屋グランドホール
	8日(日) 第57回地区年次大会 代議員総会及び分科会	十和田市民文化センター
	第57回地区年次大会式典	十和田市民文化センター
	28日(土) 第57回複合地区年次大会 前夜祭	青森市・アラスカ
6月	29日(日) 第57回複合地区年次大会式典	青森市文化会館
	第57回複合地区年次大会 議長晩餐会	ホテル青森
	12日(日) 次期三役・TT・ZCセミナー	八戸市・八戸グランドホテル



未来の情報を伝えたい...

株式会社 岩間印刷

PR情報・機関誌副委員長
L岩間 恵美郎 (十和田LC)

十和田工場 〒034-0021 十和田市東二十三番町11-25 TEL 0176-23-5131 FAX 0176-23-5240
本社 〒034-0011 十和田市稲生町15-14 TEL 0176-22-0838

地球にやさしい 青森県推進事業所 登録番号 第08-0012号

ライオンズクラブ国際協会332複合地区



第57回年次大会

前夜祭

開催日 2011年5月28日(土)
 登録受付 17:00~
 開催時間 18:00~20:00
 開催場所 ウェディングプラザ アラスカ

登録料

- L 8,000円
- LS/LL/家族会員/事務局員 8,000円

年次大会

開催日 2011年5月29日(日)

代議員会

開催場所 青森市文化会館
 登録受付 9:00~10:00
 委員会(資格審査・議事運営) 9:30~9:50
 全体会 10:00~10:15
 分科会 10:20~11:00
 総会 11:10~11:30

記念講演

11:30~12:00
 講師：2013 国際協会第二副会長立候補者 じっひろ
 元国際理事 L山田 貴紘

大会式典

開催場所 青森市文化会館
 登録受付 11:30~12:30
 式典 13:00~14:30

議長晩餐会

開催場所 ホテル青森 15:00~17:00

登録料

- L 10,000円
- LS/LL/家族会員/事務局員 8,000円



一路青森。

うまし、うつくし、北のまほろば。東北新幹線E5系「はやぶさ」

332-A地区 会員動向 2011年2月末日現在

R	Z	クラブ名	2011年1月末	2011年2月末	増減
1	1	青森	46	46	0
		青森うとう	32	31	-1
		青森あすなろ	18	18	0
		青森はまなす	37	37	0
		青森かもめ	11	11	0
		青森まほろば	34	34	0
		青森ねぶた	22	22	0
	小計	200	199	-1	
	1	青森中央	40	40	0
		青森八甲	45	44	-1
		蟹田	18	18	0
		青森みちのく	17	17	0
		三厩	13	13	0
		青森縄文	10	10	0
青森みらい		24	24	0	
小計	190	189	-1		
合計	390	388	-2		
2	1	弘前	78	78	0
		藤崎	16	16	0
		弘前東奥	49	52	3
		板柳	14	14	0
	小計	157	160	3	
	2	弘前チェリー	40	40	0
		岩木	24	23	-1
		弘前中央	24	24	0
		弘前津軽	45	45	0
		弘前西	19	19	0
小計		152	151	-1	
合計	309	311	2		
3	1	黒石	48	47	-1
		大鰐	11	11	0
		平賀	24	24	0
		浪岡	11	10	-1
		黒石鳥城	48	48	0
		尾上	32	32	0
		田舎館	16	16	0
		小計	190	188	-2

R	Z	クラブ名	2011年1月末	2011年2月末	増減
1	1	青森ライオネス	19	19	0
	2	青森中央ライオネス	17	17	0
	合計	36	36	0	

R	Z	クラブ名	2011年1月末	2011年2月末	増減
2	2	五所川原	54	54	0
		鶴田	33	36	3
		深浦	5	5	0
		五所川原東日流	43	44	1
		五所川原中央	19	19	0
		小計	154	158	4
	3	つがる	22	22	0
		鱒ヶ沢	29	29	0
		五所川原金木	17	17	0
		中泊	30	30	0
小計	98	98	0		
合計	442	444	2		
4	1	三沢	32	32	0
		十和田	57	57	0
		十和田稲生	30	30	0
		野辺地	13	13	0
		十和田湖	17	18	1
		十和田おいらせ	25	25	0
		三沢木崎野	32	32	0
	七戸	11	11	0	
	小計	217	218	1	
	2	むつ	37	37	0
むつ大畑		7	7	0	
むつ脇野沢		8	8	0	
2	むつ横浜	11	11	0	
	むつ川内	14	13	-1	
	東通	19	19	0	
	大間	10	10	0	
むつみらい	17	17	0		
小計	123	122	-1		
合計	340	340	0		
5	1	八戸	54	54	0
		八戸三八城	31	31	0
		八戸城北	24	23	-1
		八戸都南	15	15	0
		八戸うみねこ	31	31	0
	小計	155	154	-1	
	2	八戸中央	49	48	-1
		八戸白鷗	29	29	0
		八戸まべち	14	13	-1
		五戸	14	14	0
八戸東		42	42	0	
小計	148	146	-2		
合計	303	300	-3		
総計	1,784	1,783	-1		



Lions Clubs
International

ライオンズクラブ国際協会332-A地区

第57回 年次大会

2011年5月7日(土)・8日(日)

5/7
(Sat)

■チャリティーゴルフ大会

- ・登録料 5,000円
- みちのく国際ゴルフ倶楽部**
- 十和田市大字洞内樋口130-1
- TEL.0176-25-8111
- ◆スタート/8:00
- ◆プレー代/ビジター13,000円
- メンバー 9,500円
- (昼食・1ドリンク付)

■前夜祭(ゴルフ表彰式有)

- ・登録料 L 10,000円
- LS,LL 8,000円

富士屋グランドホール

- 十和田市東一番町2-28
- TEL.0176-23-1000
- ◆登録受付/17:30~18:30
- ◆前夜祭/18:30~20:30

5/8
(Sun)

■代議員総会及び分科会

- 十和田市民文化センター**
- 十和田市西三番町2-1
- TEL.0176-22-5200
- ◆登録受付・投票/9:00~10:00
- ◆運営委員会/9:30~9:50
- (資格審査委員会・議事運営委員会・指名選挙委員会)
- ◆代議員総会・分科会/
- 10:00~11:30

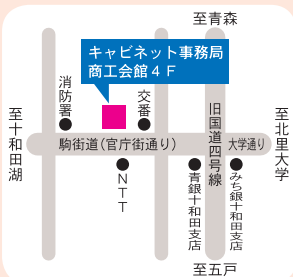
■大会式典

- ・登録料 L 5,000円
- LS,LL 4,000円
- 十和田市民文化センター**
- 十和田市西三番町2-1
- TEL.0176-22-5200
- ◆登録受付/11:30~12:30
- ◆大会式典/13:00~14:45

2011.4.1 発行

ライオンズクラブ国際協会
332-A地区
キャビネット事務局
ライオンみちのく
編集局

〒034-8691
十和田市西二番町4-11
十和田商工会館4F
TEL 0176-27-6521
FAX 0176-25-2230
E-mail: t332a2010@cube.ocn.ne.jp



SDC 三興電子工業株式会社

2010-2011 332-A地区ガバナー

代表取締役会長 **小松崎 壽 志** (十和田LC)

〒034-0001 青森県十和田市大字三本木字矢神58-1
TEL 0176-26-2331 FAX 0176-26-2336

お客様にご安心を!!
社会福祉法人 勲功会
高齢者総合福祉施設 **祥光苑**
2010-2011 332-A地区
第二副地区ガバナー
理事長 **L 外崎 勲**
(五所川原LC)
〒037-0092
五所川原市大字沖飯詰字帯刀357番地1
TEL 0173-36-3100
FAX 0173-36-3130

美しい自然と水を守りましょう。
株式会社 源 外崎配管設備
2010-2011 332-A地区
第二副地区ガバナー
代表取締役 **L 外崎 勲**
(五所川原LC)
〒037-0032 五所川原市烏森45番地15
TEL 0173-35-9816
FAX 0173-35-9817
木造営業所 TEL 0173-49-1122

中居食品容器(株)
2010-2011 332-A地区
第一副地区ガバナー
代表取締役 **中居 雅博**
(八戸LC)
〒039-1121
青森県八戸市卸センター2-5-18
TEL 0178-29-0887
FAX 0178-29-0776